

遺影写真を撮影・提供

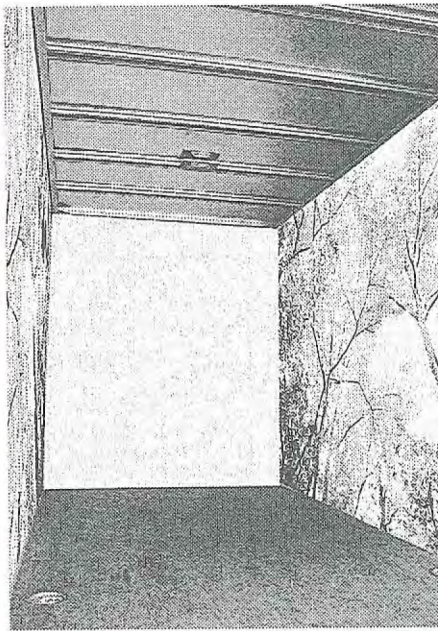
セイコー運輸

「移動写真館」構想描く

来年度 高齢者に応え新事業

【大阪】セイコー運輸(宮高浩社長、大阪市住之江区)は来年度にも、遺影写真の加工作成などを手掛ける葉月写真工芸社(今井実社長、住吉区)と連携し、新規事業「フォトすむいぶ」をスタートさせる。

高齢者向け引越越しを通じて介護業界に精通したセイコー運輸が顔写真を撮影。葉月写真工芸社は顧客の要望に応じてデータを加工し、移動写真館として稼働させ、写真館へ足を運びにくい人の「元気なうちに自分らしい写真を残したい」といった声に応える。



荷台を改造し、移動写真館として稼働 (イメージ)

セイコー運輸は高齢者層をメインにした引越越しサービスを展開。介護施設や老人ホームなどの利用者から信頼を得てきた。一方、葉月写真工芸社は37年にわたって遺影写真の撮影、加工・修整を手掛けている。亡くなった人の写真が残ってなかったり、遺影に適したものがあったりする。

ケースが多く、また、スナップ写真を引き伸ばすといった作業も多いため、

課題だった。そのような中、新たなサービス提供を模索していたセイコー運輸と、介護業界に役立てたいと考えていた葉月写真工芸社の思惑が一致。大阪府の2013年度「おおさか地域創造ファン」に共同申請した「介護業界と葬儀業界を巻き込んで『偲(しの)ぶ心』の創造と展開」が、7月に助成対象事業として選ばれた。両社では今後、事業を通じて新たな市場を開拓。それぞれの地域貢献と売り上げ拡大につながる方針で、セイコー運輸の宮高専務は「互いの得意分野を生かし、他社にはないサービスを提供したい」と話している。

法人格組織 発足めざす

関係行政機関と連携狙い

【大阪】大阪、兵庫両府県のトラック協会海上コンテナ部会の部会員でつくる海上コンテナ研究会は6日、初会合を開き、海コン輸送事業者で構成する新団体の設立に向けて取り組む方針を確認した。

関係団体・行政機関に発言力や影響力を持たせるのが狙い。「地方トラック協会の専門部会という立場では、業界の意見が(国や荷主に)十分伝わらない」と(佐賀里隆之・兵ト協海コン部会長)との考えの下、法人格を持つ独自組織の発足を目指す。

今月中に両部会の部会員を対象にアンケートを実施

環境対応 イベント

【大阪】大阪府トラック協会の河北支部(河合良紀支部長)、池田市などは3日、宣真高等学校(池田市)で、2013サイクル&エコカーニバル(池田)を開いた。地域住民と交流するとともに、環境保全への取り組みを身近に感じてもらおうが狙い。

毎年、環境対策事業および広報事業の一環として協力している。支部のブースでは、ライフラインとして

手原産業倉庫

栗東市にスルー型拠点

来夏完成 通販受注拡大狙う



【滋賀】手原産業倉庫(今井潤一社長、滋賀県野洲市)は、栗東市に栗東物流センター(仮称)を新設する。B to C(企業・個人)物流に対応した戦略的スル

び、鉄筋コンクリート造り3階建てで、延べ床面積は2万1400平方メートル。名神高速道路・栗東インターチェンジに近く、京阪神と中京の大都市圏まで1時間で

【京都】京都府トラック協会(金井清治会長)は1日、近畿トラック協会(坂

で自動車利用の増える11月の1か月間を「京都・セーフティ&エコドライブを企画している。

買い物客へ啓発グッズ

京ト協 環境キャンペーンに協力

街頭開発活動や環境と物流をテーマにしたフォーラムを企画している。

子供に啓発グッズを渡す浅井専務(イオンモール久御山店)

「環境キャンペーンです。アイドリングストップに努めましょう」と呼び掛けた。浅井氏は「京ト協として来月14、15の両日に開かれる京都環境フェスティバルにも出展する。それぞれの立場で環境